

---

# 2015年3月期 第1四半期 決算説明資料

2014年7月30日

日本ガス株式会社  
(日本瓦斯株式会社)



すべてはお客様のために

# 目次

---

---

1. 2015年3月期 第1四半期決算の実績
2. 2015年3月期 第1四半期の取組
3. 2015年3月期 業績予想（上半期・通期）
4. 株価推移と配当

# 1. 2015年3月期第1四半期決算の実績／①概要

- 顧客純増堅調な伸び。一方で関連経費が先行し、LPG原料高値推移と相俟って減益（但し、下期に粗利マージン適正化。通期業績予想は変更無く、営業利益で4期連続最高益見込）。

単位：億円

	2014/3期 第一四半期	2015/3期 第一四半期	増 減	備考
--	------------------	------------------	-----	----

## PL & CF

売上高	296	309	+13	・顧客数の増加が寄与
営業利益	29	22	▲7	・顧客獲得費用増。LPGマージン適正化は下期
四半期純利益	16	12	▲4	
EBITDA	53	46	▲7	

## B/S

総資産	1,235	1,292	+57	
純資産	448	446	▲2	

## 業容

お客様数（純増）	9,149件	10,659件	+1,510件	・前年同期比で17%の伸び
お客様数（千件）	1,038千件	1,077千件	+39千件	・2015/3期中に1,100千件を達成見込
ガス販売量（千トン）	153千トン	155千トン	+2千トン	

# 1. 2015年3月期第1四半期決算の実績 / ②損益計算書

- ・ 増収。顧客純増堅調で経費先行、LPG原料も高止まり。マージン適正化が下期となるため1Qは減益。
- ・ 下期は収益回復見込み。通期業績予想変更無し（P11）。

単位：億円

	2014/3期 第1四半期	%	2015/3期 第1四半期	%	増減
売上高	296	100%	309	100%	+13
（内、都市ガス事業）	(121)		(127)		
（内、LPガス事業）	(175)		(182)		
粗利益	121	40.8%	116	37.4%	▲5 / ▲3.4%
販管費	92	30.9%	94	30.4%	+2 / ▲0.5%
営業利益	29	9.9%	22	7.0%	▲7 / ▲2.9%
（内、都市ガス事業）	(9)		(9)		
（内、LPガス事業）	(20)		(13)		
経常利益	30		21		
四半期純利益	16		12		

## 粗利益

- ・ ▲5億減少。マージンの低下(▲3.4%)で▲10億、増収効果で+5億。
- ・ LPガスの原料高騰がマージンに影響。但し、下期に顧客件数増加とマージンの適正化が寄与し、通期では影響を吸収見込。

## 販管費

- ・ +2億。顧客獲得の急伸(+17%)に伴う費用

## 営業利益

- ・ ▲7億減少。但し、下期以降の粗利改善により通期では予想(100億)を達成見込。

## 経常利益

- ・ US事業を持分法適用。営業外費用で▲0.8億

# 1. 2015年3月期第1四半期決算の実績 / ③貸借対照表

- ・ 自社株TOBの決済に備えて現預金増加。14/7/9のTOB代金支払(済み)によりNet D/E Ratio高まる見込もC/Fは安定。

単位：億円

	2014/3期 第1四半期	2015/3期 第1四半期	増 減
総資産	1,214	1,292	+78
現預金	131	253	+122
流動資産	273	396	+123
固定資産	941	896	▲45
有利子負債（除くリース債務）	477	620	+143
Net有利子負債（除くリース債務）	345	368	+23
純資産	524	446	▲78
（内、株主資本等）	395	446	+51
（内、少数株主持分）	129	0	▲129
Net D/E Ratio	0.87	0.82	▲0.05

## 現預金

- ・ 自社株TOBの決済に備えた資金。  
2014/7/9に144億円払込み済。

## 有利子負債

- ・ 自社株TOB に備えて資金を借入

## 少数株主持分

- ・ 完全子会社化(2014/3/7効力発生)により少数株主持分はほぼゼロ。

## Net D/E Ratio（Net有利子負債÷株主資本等）

- ・ 2014/7/9のTOB資金払込により、数値高まる見込も、C/F自体は安定。

# 1. 2015年3月期第1四半期決算の実績 / ④Cash Flow

- ・ 当社のCF (収益も)は下期偏重。
- ・ 第1四半期はTOBに備えた借入で財務CFが大幅プラス。

単位：億円

	2014/3期 第一四半期	2015/3期 第一四半期	増 減
<b>EBITDA</b>	<b>53</b>	<b>46</b>	<b>▲7</b>
<b>営業CF</b>	<b>▲3</b>	<b>+21</b>	<b>+24</b>
(内、各種償却費)	(24)	(24)	0
<b>投資CF</b>	<b>▲23</b>	<b>▲30</b>	<b>▲7</b>
(内、有形固定資産取得)	(▲15)	(▲24)	(▲9)
<b>財務CF</b>	<b>+8</b>	<b>+119</b>	<b>+111</b>
(内、借入収支)	(+30)	(+130)	(+100)
<b>CF Total (換算調整前)</b>	<b>▲18</b>	<b>+110</b>	<b>+128</b>

## 営業CF

- ・ 売上債権の回収が寄与。

## 投資CF

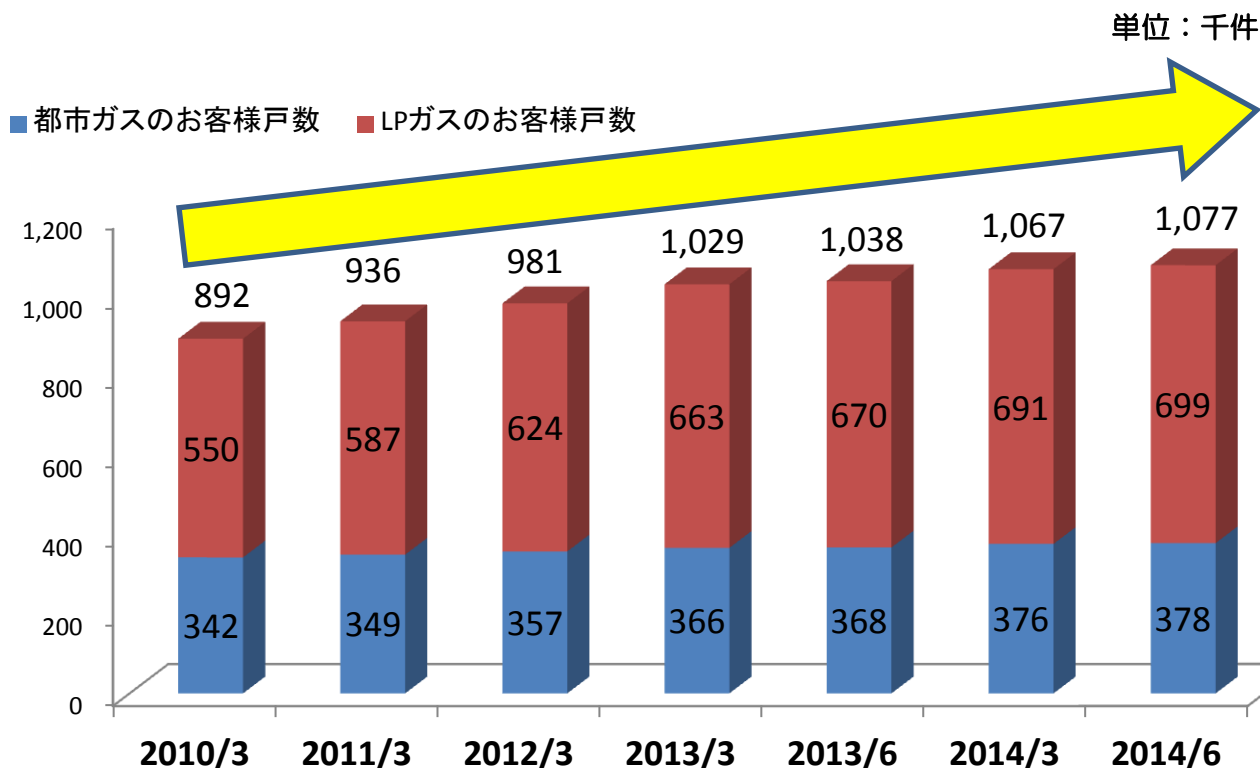
- ・ 都市ガスのパイプライン拡張がメイン。その他、海外事業（アメリカ北東部）への成長資金等。

## 財務CF

- ・ 自社株取得に備えて借入が増加。
- ・ 自社株TOB(上限10百万株)成立。  
2014/7/9に144億円払込み済。

# 1. 2015年3月期第1四半期決算の実績／⑤お客様数

- 完全自由化市場のLPガスと、2016年自由化見込市場の都市ガスの両方でお客様数を順調に拡大。



## LPガス（完全自由化市場）

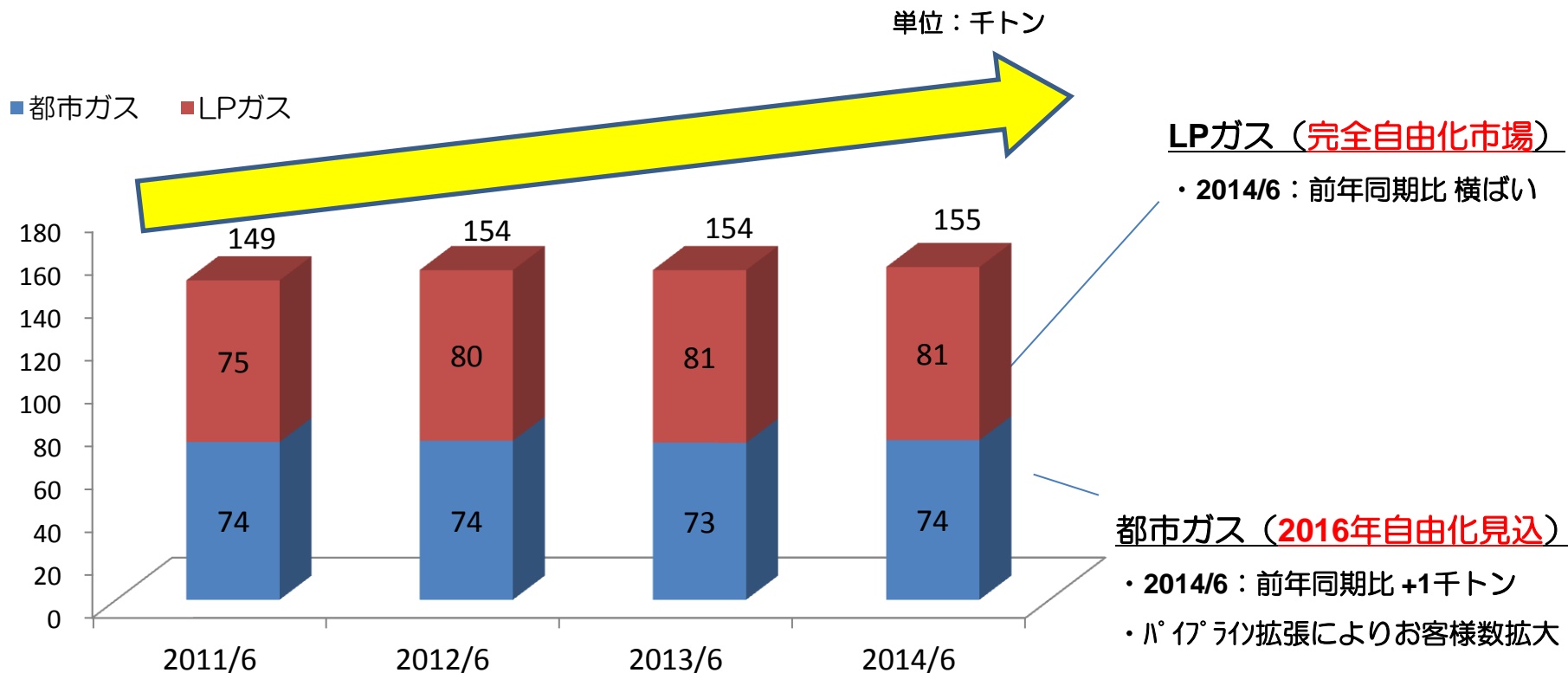
- 2014/6：前年同期比 +29千件
- 完全自由化市場で個別訪問の営業力で顧客基盤を拡大
- 尚、上記顧客基盤の拡大は、当社のLPガスの平均販売価格が、全国平均より3割以上安い中での達成（2014年6月実績。石油情報センターのデータ）

## 都市ガス（2016年自由化見込）

- 2014/6：前年同期比 +10千件
- パイプライン拡張によりお客様数拡大

# 1. 2015年3月期第1四半期決算の実績／⑥ガス販売量

- 完全自由化市場のLPガスと、2016年自由化見込市場の都市ガスの両方でガスを販売。





## 2. 2015年3月期第1四半期の取組／①自由化への備え

### ・電力小売事業への参入

- ・2015/3期中に電力小売事業へ参入予定（14/5/28にPPS開始届出書提出済み）。電力事業の組成に関しては、ガス・電力のセット販売等、あらゆる可能性を想定して準備を進めている。

### ・LPガス事業者の集約化

- ・総合I初ギ-企業群の形成に向けて、全国に2万社以上存在するLPガス事業者の再編は待ったなしの状態。都市ガス自由化の2016年までは、LPガス事業者の集約化に注力。

### ・都市ガス自由化への備え

- ・2014/3/7に都市ガス子会社の完全子会社化を実施。グループの間接部門（経理・人事等）を2015/3期中に統合・シェアードサービス化し業務効率化を一層推進。
- ・ガス自由化後に高度人材を確保する為、グループの人事制度を抜本的に改革。競争マーケットに相応しい適正なインセンティブが付与された人事制度を2015/3期中に完成させる予定。

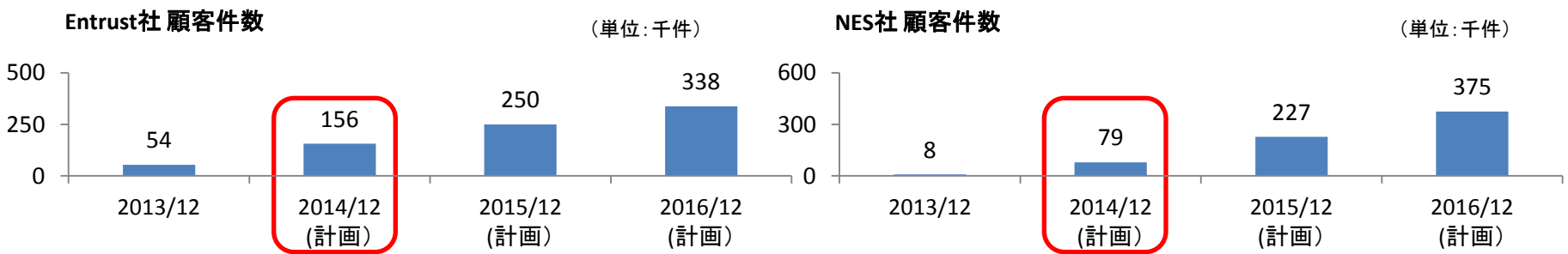
## 2. 2015年3月期第1四半期の取組／②海外事業の順調な成長

- 北米の電力・ガス小売が順調に拡大

- 顧客件数が127千件に到達（テキサス／Entrust社：115千、北東部／NES社：12千）。拡大の主要因は416名に拡大したドアノック営業部隊（以上、数字は2014/6/末時点）。

- 北米事業が2016/12に利益貢献へ

- Entrust社は、2014/12期にCF上の資金収支分岐点を突破見込。15/12期にはPLでも損益分岐点を超えて黒字化の予定。NES社は15/12期にCF上の資金収支分岐点に達し、16/12期にPL損益分岐点を超え、北米事業全体で利益貢献開始予定。さらに両社はグローバルI初ギ-企業である北米シエルとの間で2014年6月にI初ギ-調達包括契約を締結。今後4年間で最大15億ドル相当の電力・ガスを競争力ある価格で調達、更なる成長の加速を見込む。



すべてはお客様のために

### 3. 2015年3月期業績予想（上半期）

- ・ 中東の地政学リスク等からLPG原料価格が高止まり。粗利マージンの適正化は下期以降となることから上半期予想を修正。
- ・ 但し、下期に顧客増加と同マージンの適正化が寄与大の見通しであり2015年3月期**通期予想は変更せず**（詳細次頁）。

単位：億円

	2014/3期 上半期 実績 (A)	2015/3期 上半期 修正前予想 (B)	2015/3期 上半期 修正後予想 (C)	2015/3期 上半期予想 修正幅 (D) = (C) - (B)
売上高	536	600	571	▲29
営業利益	26	27	18	▲9
四半期純利益	21	14	6	▲8
1株当たり四半期純利益（円）	46.29	31.79	15.02	▲16.77

### 3. 2015年3月期業績予想（通期）

- ・ 営業利益・経常利益で4期連続の過去最高益更新を予想。
- ・ 下期に、顧客増加と粗利マージンの適正化が大きく寄与する見通しであり、**2015年3月期通期予想は変更せず。**

単位：億円

	2014/3期（実績）	2015/3期（予想）
売上高	1,268	1,330
<b>営業利益</b>	90	<b>100</b>
当期純利益	95	60
1株当たり当期純利益（円）	220.93	160.29
<b>EBITDA</b>	193	<b>200</b>

## 4. 株価推移と配当

### ・ 株価推移

- ・ 株価は大きく上昇後、堅調に推移（7/29終値：2,412円）
- ・ 完全子会社化を株式交換で実施（2014/3/7）し、株主様数は約1.5倍に増加（2,886名→4,229名）。出来高も大幅増加して安定（過去3カ月平均：109千株／日）。

株価推移（2014/1月～2014/7/29終値時点）



株価推移/日経平均との指数比較（期間は同左）



### ・ 配当方針

- ・ 2014/3月期の配当を13→26円に倍増。2015/3期も安定配当の計画。